

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援・放課後等デイサービス ともともびじょん		
○保護者評価実施期間	令和7年11月15日		～ 令和7年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	令和7年11月15日		～ 令和7年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○訪問先施設評価実施期間	令和7年11月15日		～ 令和7年12月15日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援・放課後等デイサービスの利用者からの相談や希望があった場合には、関係機関と連携しながら状況に応じて対応することができる。	児童発達支援・放課後等デイサービスの状況も踏まえながら子どもの特性や課題を把握し、支援の方向性について検討しながら支援計画や支援内容の調整を行っている。	情報共有を密に行いながら、必要な支援について学校や関係機関とも連携し、子どもが安心して生活できる支援につなげていく。
2	子どもの状況に応じて間接的支援と直接的支援を行いながら学校生活の中で必要な支援を行っている。また、担任の先生だけでなく学年主任や管理職とも連携し、支援の方向性について共有している。	学校での様子を実際に観察しながら、必要に応じて直接的支援を行っている。(読み書きに困り感のある子ども等) また子どもの特性を踏まえた関わり方や環境調整について検討し、報告書や資料を作成して保護者や学校、相談支援事業所へ説明を行っている。	学年末の引継ぎや退所時に支援のまとめ資料を作成し学校へ提出するなど、今後の支援につながるよう情報共有を行いながら支援の充実を図っていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	当事業所以外からの相談や支援依頼があった場合、状況によっては迅速な対応が難しい場合がある。	子どもの状況を把握するためには、保護者や関係機関からの聞き取りやアセスメントを行う必要があり、支援の調整に時間を要することがある。	保護者や学校、関係機関との情報共有を行いながら状況の把握に努め、必要に応じて保育所等訪問支援等の活用を行いながら対応できる体制づくりを進めていく。
2			
3			